

講座

9

テレビ・ドキュメンタリーの基盤を支える人々

【定員】72名 【受講料】2年会員13,380円 1年会員15,060円 聴講生20,080円

『歴史・文学・人間学』映像・メディア 【時間】 毎回15時00分～16時30分（計12回）

概要

様々な手法を駆使して「事実」に迫る映像メディアが溢れる中で、その老舗とも言える「テレビ・ドキュメンタリー」の最前線で「事実」を記録する制作者達は何を考え、何と格闘しているのだろうか。ディレクター、プロデューサー、ナレーター……まさにその最前線で悪戦苦闘しテレビ・ドキュメンタリーを支える人々の素顔を通して、映像・メディアの核心について考える半年としたい。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(金)	川崎市生涯学習プラザ	私は激動の“現場”に立ち続ける（ウクライナ・ガザの最前線から中継講座）	フリージャーナリスト 新田 義貴
2	10/11(金)		私の原点はインタビューにある（100歳の元兵士への驚異の取材簿）	NHKスペシャルディレクター 笠井 清史
3	10/18(金)		ドキュメンタリー何が私を魅了し続けるのか（「坂本龍一Last Days」などの制作記）	NHKスペシャルプロデューサー 松宮 健一
4	10/25(金)		「映像の世紀 バタフライエフェクト」はこうして生み出される	TVプロデューサー 寺園 慎一
5	11/ 1(金)		中国を記録し続けて40年 そこから得たドキュメンタリーの真髄	株式会社テムジン 創業者プロデューサー 矢島 良彰
6	11/22(金)		私を支えるテレビ・ドキュメンタリーの魅力	株式会社椿プロ代表取締役ディレクター 金本 麻里子
7	11/29 (金)		私はネイチャー・ドキュメンタリーをこうして作り続けている	NEPネイチャーディレクター 原田 美奈子
8	12/ 6 (金)		2024年秋 戦場の市民を撮り続けて感じていること	NHKスペシャルディレクター 右田 千代
9	12/13(金)		視聴率至上主義の民放でいかにドキュメンタリーの火を灯し続けるか～現場の苦悩と挑戦	株式会社Hariver代表取締役プロデューサー 張江 泰之
10	12/20(金)		「家、ついて行ってイイですか？」から見えてきたもの～ドキュメンタリーと企画性	元テレビ東京ディレクター 高橋 弘樹
11	1/17(金)		はてドキュメンタリーとは？ アナウンサーからの考察	ナレーター&キャスター 三宅 民夫
12	1/24(金)		テレビ・ドキュメンタリーをさらに進化させるために	NHKスペシャル事務局長 中村 直文

連絡事項

第1回（10/4）は、状況によって、ウクライナやガザなどの最前線からの中継での遠隔講義の可能性あり。